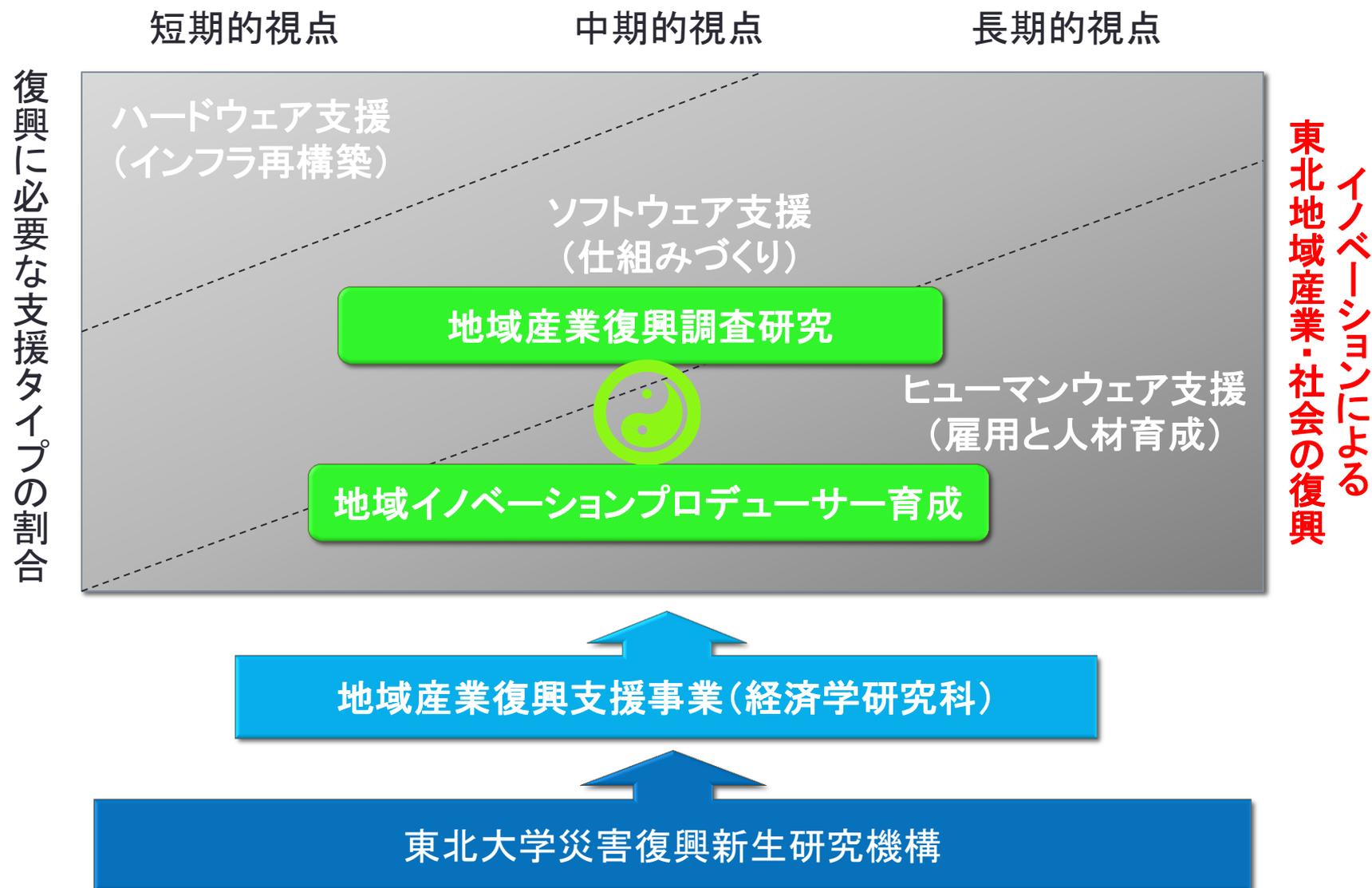


地域産業復興支援プロジェクト

東北大学大学院経済学研究科
地域イノベーション研究センター
藤本雅彦



2013年度の活動

事業革新支援のあり方プロジェクト

A. 産業の復興過程の記述

事業者の視点

C. 新たなビジネスモデルの提案

I 福島と津波被災地の復興の進捗と課題

II 新たな地域産業社会のモデル

水産加工業プロジェクト

地域発イノベーション事例調査プロジェクト

企業アンケートプロジェクト
※被災3県企業の継続的なパネル調査

農業プロジェクト

先進農業と6次産業化
食品マーケティングプロジェクト

流通業プロジェクト

観光業プロジェクト

再生可能エネルギー産業
プロジェクト

製造業プロジェクト

地域金融プロジェクト

土木建設業
プロジェクト

新たなモデルの提案

復興過程と課題の記述

地域雇用プロジェクト

NPOプロジェクト

スマートシティプロジェクト

環境未来都市構想
(東松島市)プロジェクト

地域住民の視点

B. ライフラインの復興過程の記述

D. 新たな地域モデルの提案

復興支援(財政支出)の検証プロジェクト

3年間の調査結果から見えてきたこと

- 被災地でのインフラなどのハード的な復旧は、集団移転や復興公営住宅の整備などの一部を除いて、国の手厚い財政支援の下でほぼ計画通り(瓦礫処理など)
- インフラの復旧に伴う建設産業が被災地の地域経済を活性化させているが、建設資材の高騰や求人難などによる被災地域企業の事業活動に負の影響
- 岩手県と宮城県の沿岸部や福島県では若者の人材流出が激しく、地域コミュニティの再生が大きな課題
- 東北全体の観光客は、外国人観光客の回復が遅く、特に福島県の回復が遅れているが、震災前の水準に戻りつつあり「復興ツーリズム」という新たな形態が発生
- 今後、東北地方での再生可能エネルギーが急速に普及する見通し:風力発電の設置数は全国の半分、太陽光発電は福島県を中心に急増
- 一時的な財政支援による外発的経済成長への依存から地域企業のマーケティングを中心としたイノベーションによる内発的経済成長への転換が大きな課題

調査研究の成果を踏まえた政策提言の様子

3月9日放映NHK「日曜討論」: 復興大臣と被災3県知事との討論



東日本大震災復興研究 **III**

震災復興政策の検証と 新産業創出への提言

—広域的かつ多様な課題を見据えながら
「新たな地域モデル」を目指す—

東北大学大学院経済学研究科
地域産業復興調査研究プロジェクト 編

河北新報出版センター

地域発イノベーション 震災からの復興・東北の底力

地域発イノベーション事例調査研究プロジェクト 編著

東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター
公益財団法人 東北活性化研究センター

河北新報出版センター

目的＝地域企業の事業構想の革新と実現の支援

プロデューサー人材の育成
(自主能力養成)

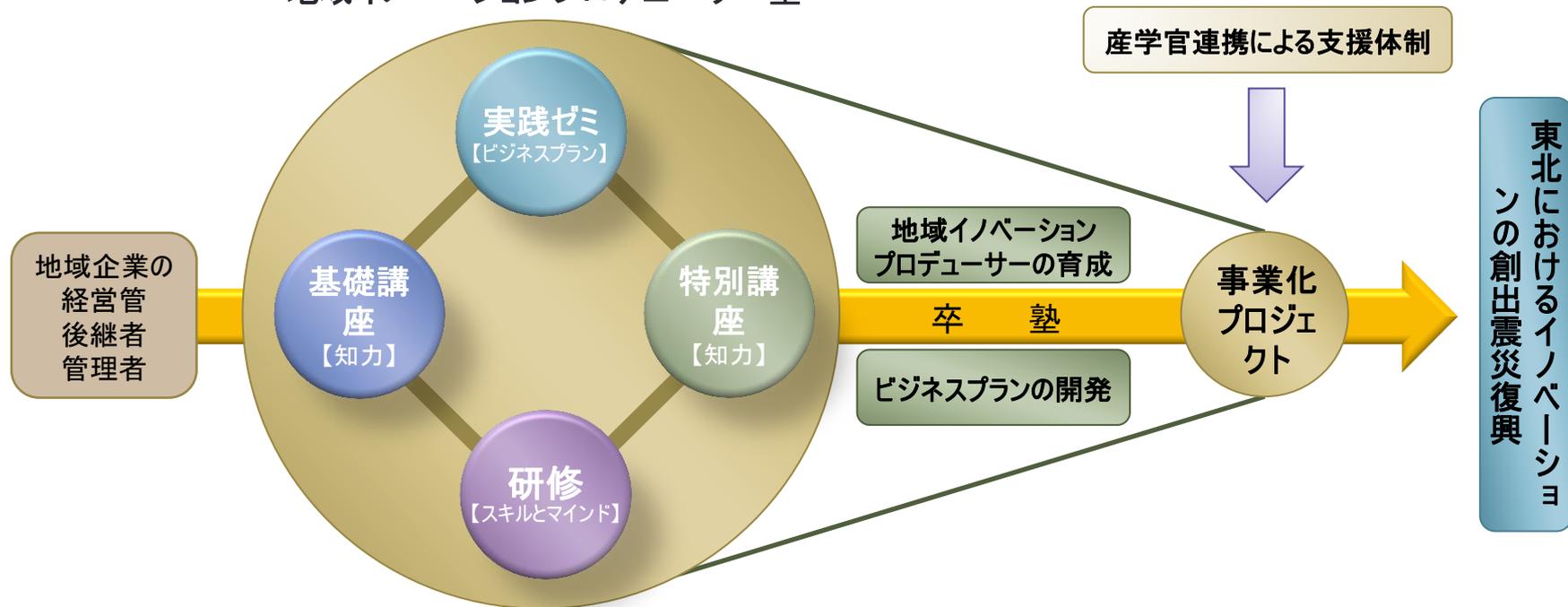
地域イノベーションプロデューサー塾 (Regional Innovation Producer School)

RIPS

事業化段階の支援
(事業成果実現を重視)

優れた事業プランの開発
(イノベーションによる飛躍)

地域イノベーションプロデューサー塾



区分	目的	開催	主な学習方法等(講師陣)
基礎講座	【知力】 ビジネス・デザインとマネジメントに関する基礎知識の学習(基礎講座カリキュラムに基づく)	毎週火曜日 18:30~21:00	講義、討論、事例 (経済学研究科教員、外部講師)
特別講座	【知力】(特別テーマ学習) 特別に設定したテーマについての知識の学習 (事例研究、地域、海外市場、知財、ブランド戦略等)	土曜日午前 (隔週)	講義、セミナー (テーマ別の外部講師)
研修	【技法】【マインド】 問題解決やイノベーションをリードするためのスキルとマインドの習得	土曜日午前 (4~5回)	ロールプレイングや行動変革などの研修トレーニング (外部研修機関のトレーナー)
実践ゼミ	【ビジネスプラン】 ビジネスプランづくりの指導と能力向上	土曜日午後 (隔週)	事業開発の専門家による指導 (将来的には)卒塾者との交流の場

被災3県へのサテライトの拡大

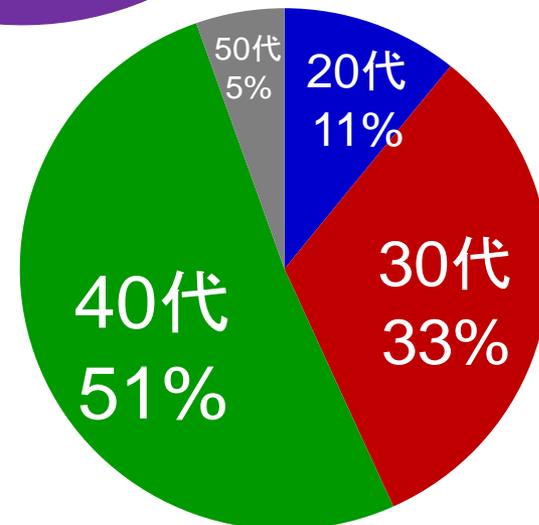
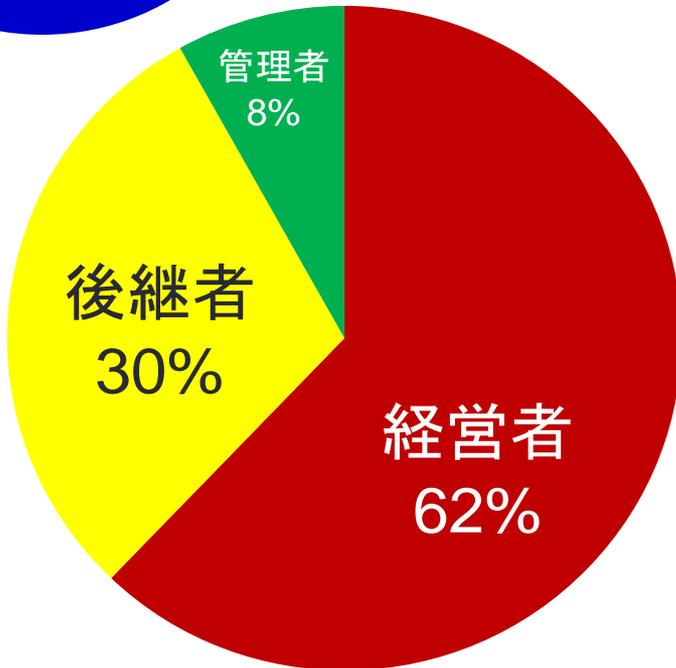
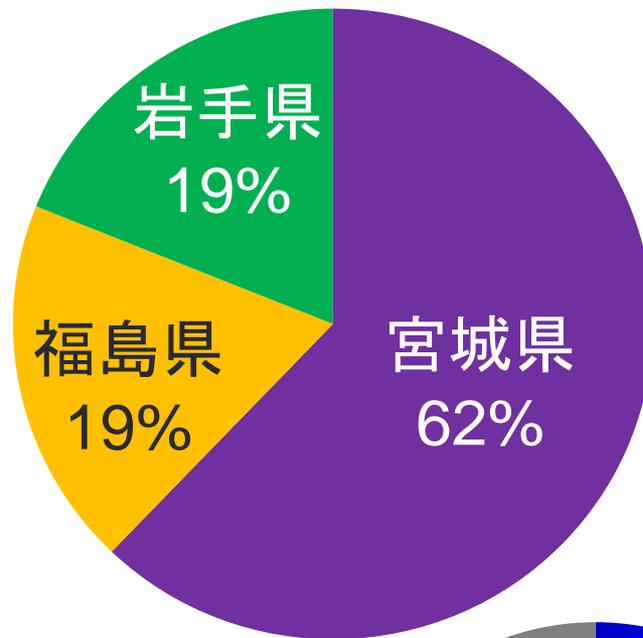
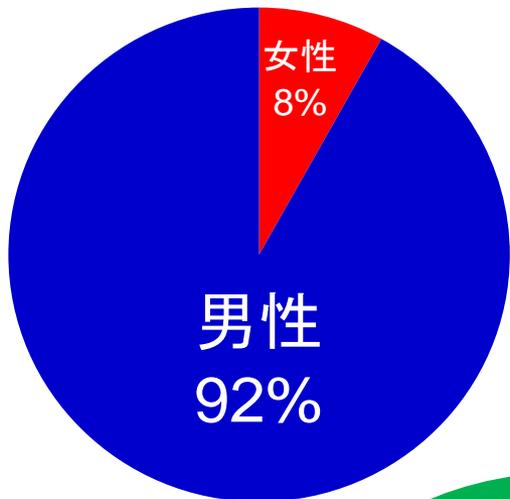
	内容
募集定員	<ul style="list-style-type: none"> 仙台(30名) 花巻サテライト(5名) 会津サテライト(5名)
応募形態と募集期間	<ul style="list-style-type: none"> 推薦応募(4月~5月) 紹介応募(4月~5月) 一般応募(6月)
入塾料	10万円
授業期間	9月~翌年2月(半年間) <ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日18:30~21:00 隔週土曜日10:00~17:00
卒業要件	実行可能な新たなビジネスプランの策定など
事業支援	卒業後数年間 <ul style="list-style-type: none"> 担当コーディネータによる指導 卒業者の定例ネットワーキング



入塾式(2013年8月31日)



2013年度入塾者37名のプロフィール



成果(ビジネスプラン)発表会(2014年3月1・2日)

様々な業種・業態における新たなイノベーションによる事業プランの発表

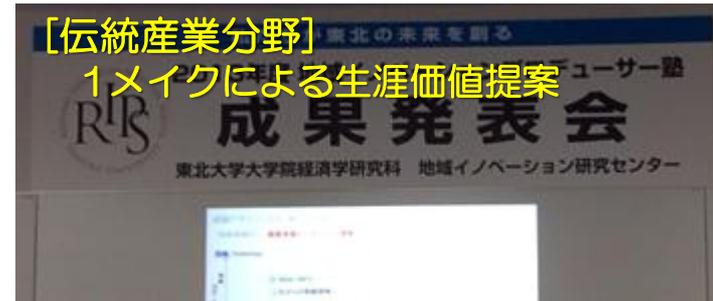
[製造業分野]

券売機を使ったビッグデータビジネス



[伝統産業分野]

1メイクによる生涯価値提案



[エンターテイメント分野]

ミュージカルエレメントの初期化によるリイノベーション



[建築業分野]

エイジングハウス



[医療機器分野]

在宅医療のイノベーション



優れた事業を中心に、卒業後3年間はビジネスモデルの実現を支援

